

コンテンツ

文章を書くとはどういうことか

【1】小論文とはなにか

- 【A】文章を書くとはどういうことか
- 【B】作文との違い
- 【C】小論文の採点基準

【2】表現力

- 【A】 原稿用紙の正しい使い方
- 【B】 語彙力／正しい書き言葉
- 【C】 小論文の文体
- 【D】 具体的に書く

【例題① 駅から家までの道】／【例題② 好きな食べ物】

【3】構成力

- 【A】 接続詞を使って構成を考える

【例題③ これからの抱負】

【基本問題① 自分の通っている学校のPR】／【基本問題② 部の勧誘文を書く】

【基本問題③ 勉強をする理由】／【基本問題④ お小遣いの交渉】

【小論文例 格差社会について】／【課題① 制服着用の義務の是非を論じる】

【課題② 頭髪の色について論じる】

【課題③ スマートフォンの学校への持ち込みについて論じる】

- 【B】 構成

【4】知識力

- 【A】 情報の収集方法

【課題④ 憲法九条の改正の是非】／【課題⑤ 死刑制度の是非】

【課題⑥ 移民受け入れの是非】

- 【B】 現代日本が抱える問題

【課題⑦ 人口減少の問題】／【課題⑧ 少子化の問題】

【課題⑨ 日本社会の差別】／【課題⑩ 日本の労働生産性】／【課題⑪ BI 制度】

【特別課題 現代日本の問題点】

- 【C】 世界が抱える問題

【課題⑫ ポストコロナ】／【課題⑬ 環境問題】

【D】学部・学科別キーワード&推薦図書

えんざい

法学部【課題⑭ 立憲主義について】／【課題⑮ 冤罪を防ぐ】

政治・経済学部【課題⑯「自由」と「平等」について】

【課題⑰「グローバル化」とは何か?】／【課題⑱ ポピュリズムを論じる】

教育学部【課題⑲ 体罰】 【課題⑳ アクティブラーニングについて】

【課題㉑ 英語教育の早期化について】／【課題㉒ スクールカースト】

文学部【課題㉓ 外国文化について】／【課題㉔ 表現の自由について論じる】

【課題㉕ 言語教育について】

心理 【課題㉖ いじめについて】／【課題㉗ ウソについて】

社会学部【課題㉘ 少子化対策】／【課題㉙ スマートフォンの普及】

国際・グローバル学部【課題㉚ 上智大学総合グローバルの課題】

【課題㉛ 外国人労働者問題】

医学部 【課題㉜ 愛知医科大学過去問】

看護医療学部 【課題㉝ 医療現場で求められる人物像】

【課題㉞ チーム医療の重要性】／【課題㉟ インフォームド・コンセント】

【課題㊱ 看護の力】／【課題㊲ 看護家族への関わり】

【5】理解力

【A】大学で求められる資料の見方

【課題㉛ 表から考える】／【課題㉜ 表から読みとる】／【課題㉝ グラフから読みとる】【課題㉞ グラフから考える】／【課題㉟ 日本の少子化】

【課題㊱ オーバーツーリズム】

【B】要約型小論文

【課題㊲ アファーマティブアクション】／【課題㊳ 死について】／【課題㊴ 日本の貧困】【課題㊵ 自由とは何か】／【課題㊶ アイデンティティとは何か】

【6】独創力

【A】他者の視点で考える

【課題㊷ 女人禁制】／【課題㊸ 日本のサービス】／【課題㊹ 海外のルール】

【B】類推して考える

【課題㊺ スマートフォンのアプリ】

【課題㊻ 早稲田大学社会科学部自己推薦 2017 年過去問】

【7】思考力

【課題㊼ アイデンティティについて】／【課題㊽ 自由について】

【課題㊾ グローバル化と価値観】

【1】小論文とはなにか

【A】文章を書くとはどういうことか

本テキストでは、小論文を書くことを学習していきますが、小論文が何であるかを説明する前に、**文章を書くということがどういうことなのか**をまずは考えてほしいと思います。**あらゆる文章は読み手を前提に書かれています**。それがたとえ秘密の日記であったとしても、必ず読み手（未来の自分かもしれませんが、盗み読むだけかかもしれません）が想定されています。

そして、読み手がだれなのかによって、文のスタイルは変わってきます。友達にlineをする場合と、入試の小論文を書く場合では文体もまったく異なるはずです。そして、文章を書く際は、どんな場合であれ、相手に理解されるように書かなければ意味がありません。小学一年生の人に手紙を書く場合に、漢字ばかりの文を書いても読んでもらえません。つまり、**まず相手のことを想うことが第一歩**となります。丁寧な字で書くことや、原稿用紙の使い方に従うというのは、**書き手のため**にあるのではなく、**読み手のため**にあるルールです。

小論文の読み手は基本的に、**大学の先生**です。

【B】作文との違い

みなさんが小学校や中学校で習った文章術の大半は作文であったと思います。夏休みの宿題で毎年課され、苦勞して書いていた「読書感想文」も作文の一種です。ところが、高校生になり大学受験の文章術の学習を始めるとその名称が「小論文」に変わっています。

一体この「作文」と「小論文」は何が違うのでしょうか？

＜小論文と作文の違い＞

作文 ⇒自分の気持ちを書く 主観性を示す 経験を具体的に書く

小論文 ⇒自分の意見の開示 客観性を示す 具体例を集め抽象化／捨象する

まずは、作文から見てください。「主観性」というのは簡単に言うと「自分のものの見方」のことです。あるいはもっと極端に言ってしまうと「自分の感じたこと」でもあります。たとえば、つい先日、山登りをしたとしましょう。そして、やっとたどり着いた頂上でその景色に感動したとします。その「感動」が主観です。そして作文では、なぜ感動したのか、頂上の景色はどうだったのかを相手に伝わるように具体的に書いていきます。つまり、主観をめぐって詳細に書くのが作文となります。

一方の小論文でもっとも重要なことは「意見を述べる」ことです。そして、その意見の根拠を示し、読み手を説得します。当然、意見を述べるわけですから、問われている課題に関する知識がないといけません。

ここで重要なのが抽象化、あるいは捨象することです。抽象という言葉はともかく、「捨象」など聞いたこともないという人も多いと思いますので、まずは抽象と捨象の説明をしましょう。

たとえばこの世には「ポチ」や「クロ」や「リンキー」と名付けられた犬がいます。こうした固有名をもった「ポチ」や「クロ」や「リンキー」は世界に一匹しかいない具体的な存在です。こうした具体的な存在から共通性——この場合であれば「ワンと鳴く」「哺乳類」「喜ぶとしっぽを振る」など——をとりだすことを抽象、あるいは抽象化と言います。そして、抽象化する際は、個々の存在がもっていた性質——ポチは凶暴で人を見るとほえ、かみつこうとするのに対し、リンキーは人なつっこくすぐに寄ってくるなど——は捨てられます。この捨て去ることを捨象と言います。

【A】 原稿用紙／ノートの使い方

まずは、原稿用紙の使い方から学んでいきましょう。テキストは方眼ノートを使って進めてもらいますが、書き方のルールは原稿用紙のそれと同じです。原稿用紙に文章を書く際には、原稿用紙の使い方が存在します。大学の入試によっては横書きでマス目がない場合もありますが、書き方のルールは存在します。こうしたルールは、書き手のためにあるのではなく、読み手のために存在します。以下のルールを必ず守って、小論文を書いてください。

① 書き出し、段落のはじめは 1 マスあける

	地	球	温	暖	化	に	つ	い	て	…
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

② 句読点や閉じカッコは行の最初に置かない

(前の行の最後の文字と同じマスに書く)

OK

…	な	っ	た	の	で	あ	る。
---	---	---	---	---	---	---	----

NG

…	な	っ	た	の	で	あ	る
。							

③ 促音、拗音 (小さい「っ」「ゃ」など) は、他の文字と同様に 1 マス使う

OK

少	子	化	や	高	齢	化	と	い
っ	た	社	会	問	題	に		

基礎知識を学ぶための書籍

◇全学部共通◇ 以下購入

- ・『現代用語の基礎知識』
- ・『小論文 時事テーマとキーワード』
- ・『池上彰の新聞勉強術』 池上彰

☆この章では、インターネットや書籍を使って小論文を書いていきますので、以下の問題ではすべてインターネットや書籍等で調べて書いてください。

・――・――・――・――・――・――・――・――・――・――・――

【課題④ 憲法九条の改正の是非】

ここ数年、憲法九条の改正についての議論が活発です。改正の是非について前章で習った型を使いながら600字以内で論じてください。

・――・――・――・――・――・――・――・――・――・――・――

【課題⑤ 死刑制度の是非】

現在の日本では死刑制度が存続していますが、その是非についてあなたの意見を前章で習った型を使いながら800字以内で論じてください。

・――・――・――・――・――・――・――・――・――・――・――

【課題⑥ 移民受け入れの是非】

現在の日本は、就労人口が減少して人手不足になっています。こうした問題を解決するために積極的に移民を受け入れるべきだという意見がありますが、その是非について前章で習った型を使いながら800字以内で論じてください。

・――・――・――・――・――・――・――・――・――・――・――